

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕【数学A】	2年	4単位	教科書	数研出版 「最新数学A」	副教材等	数研出版 「4トライアル数学A」	履修対象・ 使用教室等	2年アクティブコース
教科・ 科目 の 目標	(1) 図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 (2) 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	授業内での取り組み、姿勢				○	○	○		
	課題レポート	回数は随時、演習問題及び入試問題に対する課題レポート			○	○	○		
	単元確認テスト				○	○	○		
	〔観点別配分%〕			〔3観点の比重を%で示しています〕					
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5 6	集合 ・集合の要素の個数 場合の数 ・場合の整理 ・順列 ・円順列と重複順列 ・組み合わせ		・場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	◎
						課題レポート	○	◎	○
						単元確認テスト	◎	○	○
						基礎力診断テスト対策確認テスト	○	○	○
7 8 9	確率 ・確率の意味と基本的性質 ・確率の計算 ・和事象の確率、余事象の確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・条件付き確率		・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	◎
						課題レポート	○	◎	○
						単元確認テスト	◎	○	○
						基礎力診断テスト対策確認テスト	○	○	○
10 11 12月上旬	図形の性質 ・角の二等分線と比 ・三角形の外心、内心、重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円周角の定理 ・円に関する諸定理 ・基本的作図		・三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・作図についての理解を深め、作図の各過程において平面図形のどの性質を用いているかを考察できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	◎
						課題レポート	○	◎	○
						単元確認テスト	◎	○	○
						基礎力診断テスト対策確認テスト	○	○	○
12月中旬から 1 2	整数の性質 ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・整数の割り算と最大公約数 ・ユークリッドの互除法 ・1次不定方程式 ・古代と現代の記数法		・さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるよう力を培う。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	◎
						課題レポート	○	◎	○
						単元確認テスト	◎	○	○
						基礎力診断テスト対策確認テスト	○	○	○
3	復習及び確認の問題演習		既習事項の復習で理解を深める。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	◎
						課題レポート	○	◎	○
						単元確認テスト	◎	○	○
						基礎力診断テスト対策確認テスト	○	○	○
学習の アドバイス	・教科書を中心に、内容の説明、例題の解説と問題演習を通して基本事項を理解し、問題解決能力を身につけること。 ・授業で扱った問題については必ず復習し、理解の定着を図ること。 評価は、(1)授業でのコミュニケーション活動への参加姿勢、(2)単元確認テストの結果、(3)課題レポートに対する取り組みの状況、(4)授業への出席状況と取り組みの姿勢をもとに総合的に行います。 各学期の成績を総合し、基準に到達すれば単位認定します。								